

新農業モデル実現へ… 決して、決して、決して諦めるな!



農業生産法人
株式会社 松尾農園グループ
代表取締役 松尾 高生氏

【有機にんじくの誕生】

祖父は、みかん作りで農業をスタート。当時は、貴重できれいなものほど高値で取引され、その分農薬を沢山散布、「農薬をまいた日は、お酒は飲むな、毒が回って死ぬ」と言われるくらい体に害のあるものでした。

父は、身体を痛めながら作っていく農法、作物を消費者に届けていいのか?と疑問を感じ、有機農法などに取り組み始めます。しかし、保守的な田舎は新しいことに対してのやっかみもあり、かなり苦勞をしたようです。

オランダの自由化で価格が暴落。厳しい状況になり、玉ねぎの生産へ。「にんにく」は、玉ねぎが育つのならできるのではということ、農業雇用者の高齢化が進み、玉ねぎより軽作業のにんにくに挑戦しようです。国産のにんにくの70%は青森産です。青森に通い教えてもらいましたが、寒地系なので育たないんです。八女と同じ緯度の暖地系の品種を取り寄せて種付けをしたら育つようになりました。

私は、農家の長男として生まれ、サラ

リーマン経験の後、農家を継ぐために戻りました。父は、畑仕事が好きだったので、私は事務処理や出荷業務、営業などを引き継いでやっています。昔から自分で作った商品は自分で直接売りたいと思っていました。思いを込めて作った農作物を出荷すると八女産とか山積の一つになるので楽天市場のネット販売を試みましたがノウハウがないので買って頂いた方にフオーもままならず半年で退店しました。

【SMIで目標設定を始める】

家業を継いだ二年目にSMIを採用。農作業をしながら反復し、行動計画の「約束手形」を初めて作りました。「約束手形」の仕事面は、コストカットなど目標を書いて一つ一つ落とし込み。書いていると達成しますよね。目標に対しての日々の行動チェック表も行います。

「約束手形」…六分野の目標と達成して得られる利益を書き出します。サクセスパワー福岡オリジナルです。

父は、生産拡大に乗り出していきまし

株式会社 松尾農園グループ 代表取締役社長 松尾 高生氏

昭和五四年、八女市立花町にて、農家三代目の長男として生まれる。工業大学を卒業後、コールセンター運営会社に就職。その後、父の営む農業生産加工販売の家業に入る。仕事に慣れていた三年目、父はくも膜下出血で急逝。二九歳の私はどうしていいかわからない不安に怯える日々。しかし、沢山の出会いに恵まれて、現在は「百姓は地球を救う」の理念のもと法人化。にんにくの生産加工を中心に、インターネット通販を展開中。2007年、SMI採用。

た。それと下請けでにんにくドレッシングの開発もしていたので、独自のドレッシングも作りたいと思っていました。

その年、父がくも膜下出血で急逝します。家業に入り仕事も慣れて、生産拡大し、さあこれからというときでした。大量にできたにんにくもどこに売ったらいかわからず10トン位廃棄し、迷走状態でした。

父を亡くし、先が見えない、現状をどうやって回していくかという状況だったので、約束手形には、「SMI社長塾に毎回参加」「夢を語る仲間を3人増やす」、「的確な指示を出せる経験の場を作る」、「能動的な自分になる」などの目標を書いています。

【逆境からの脱却】

なんとかなければという思いから、スタッフと朝礼を開始、季節の移り変わり、農作物ができていく過程などを消費者に届けたいとブログも始めました。そして独自のにんにくドレッシングの再開発も始めました。前年のあまったにんにくを助けてくれる業者さんも出て来て加工品をつくるきっかけになりました。

父との縁で農業コンサルタントの方の指導で法人化し、農業生産法人の認定を受けました。それを機会に、スタッフとの情報共有のメール、日報、幹部会などをスタートし、生産など可視化していきましました。

我が社のにんにくの美味しさと機能性を

生かし、加工食品の新規開発として、「熟成黒にんにく」の自社生産に黒にんにく熟成装置を導入し、黒にんにく製造の内製化を確立しました。

販路は試行錯誤しながら、熟成黒にんにくの認知度を高めるために農作物のイベントフェアなどに積極的に出店し、にんにくの着ぐるみを着てPRしました。徐々に認知度も上がりましたが、今でもコツコツPRをしています。また、リピーター型インターネット通販も行い、お客様へ定期的に新聞も発行しています。

メロンの3.5倍甘くて、臭くない!

おいが気にならない
あまくておいしい

ポリフェノールが
生にんにくの
6.14倍

農薬不使用

健康的な熟成黒にんにく

除草剤は使わず
雑草は手で除草。

【今後の夢】

入社してきた弟に8年後会社を承継し、私は7次産業部の別会社を立ち上げ、一般の方ににんにくなど農作物の体験プログラムや労働集約的農業から体験付価値ビジネスへ移行し、百姓がこんなに楽しいということを伝えていきたいと思っています。

SMIに出会い、約束手形(目標設定)、達成する為の行動計画書を学び実践してきたおかげで、苦境を乗り越えることができたことに感謝しています。